



創立 60 年の年に

医療法人水明会 理事長 上村 隆

本年、令和 7 年（2025 年）は昭和で換算しますと昭和 100 年にあたります。

当院は昭和 40 年（1965 年）4 月に“佐潟荘”として創立されました。そして、本年当院は創立 60 年を迎えます。令和 2 年（2020 年）4 月より病院としての機能をわかりやすく皆さまにご理解いただくため、北村院長先生の命名で新しく“佐潟公園病院”と、施設名称が改正されました。

前置きが長くなりましたが、創立 60 年の記念すべき年に、理事長職を拝命しました、上村隆と申します。皆さま何卒よろしくお願ひ申し上げます。

自己紹介としましては、最近年々歳をかさね、それと同じように体脂肪も重ねてきてしまい患者さんには精神衛生上「運動しなさい」と言っていることの都合がつきづらくなってきました。さらに持病の腰痛も体重増加、筋力低下に伴い、よく痛むようになりました。



そこで昨年 11 月より意を決し、近所のスポーツジムに入会しました。私なりに運動に励んでおりました。すると、患者さんの中には「先生少しやせた？おなかも少し凹んだみたい！？」と、ありがたいお言葉をいただき、思わず「そう？そう？」と呟くどころか口にだして心の中でガッツポーズをしてみました。それから益々頑張れるようになりました。三日坊主な私としては珍しく今のところ続けています。腰痛が軽減し、体力が少しついたようで以前ですと病院の 3 階まで駆け上がりますと、看護師さんの言葉を聞きながら息切れと戦っていましたが、最近はそれも軽減したように思います。でも、先ほど述べた患者さんの一言に

一番元気づけられた感じがします。

趣味は、たまにバイクに乗ることです。新潟の地では冬季間もちろん乗れませんが、その間は眺めたりメンテナンスをしたりして費やしております。何より天気の良い晴れた日にバイクに乗れた時は幸せです。シーサイドライン経由で彌彦神社まで行って帰路につくのがお決まりのコースです。季節ごとの風を全身で感じて気分転換しています。

当院は安全で質の高い効率的な医療と福祉を提供し、何よりも患者さんとそのご家族、さらに地域の皆様方から信頼され愛される医療機関を目指す事を経営理念として運営しております。今後も研鑽を積み誠実に地域精神科医療に貢献していこうと思っております。今後とも皆様方のご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

理事長退任のご挨拶

医療法人水明会 上村 徹

2025 年 3 月 31 日をもって理事長を退任いたしました。佐潟荘に入職して 44 年、2002 年に理事長就任後 23 年、多くの方々のご協力と激励によって大過なく今日まで来られました。改めて、感謝申し上げます。

本医療法人は 1965 年（昭和 40 年）上村忠雄理事長により設立され、以降、上村トシ理事長、上村幹雄理事長、堀内憲政理事長、そして 2002 年に私が引き継ぎました。

短かったような気もしておりますが、静かに思い返せば、次から次へと多くの思い出が蘇ってきます。特に記憶が鮮明なことだけを申し述べたいと思います。

これはまだ私が理事長就任前のこととなりますが、その当時病院の開設に関わり、病院黎明期の大変な時期を乗り越えて来られた役員の方々が鬼籍に入られる事態が始まりました。一般の医療法人のままでは、役員が所持する出資口数に対する相続税を賄えず、口数を各役員が放棄しないことには、この先、法人の存続すら難しい事態となることが予測されました。そこで退任前の上村幹雄理事長と共に、特定医療法人化の申請へ向けて、各役員へ出資持ち分放棄の説明に回り、膨大な資料を集め、何度か所轄する大蔵省へ出向き、修正を重ねてようやく 2001 年 3 月 31 日、大蔵省から特定医療法人の認可を得ることが出来ました。本法人が特定医療法人化したことは、水明会が発展に向けて動き出す基礎となったのは間違いありません。



その後、相続税から解放された安心感を持ちつつ、古くなった病院の新築計画がスタートしました。

しかし、この病院の改築はスタートから難題山積みでした。

新病院の予定地は、旧病院に隣接する佐渡・弥彦・米山国定公園とラムサール条約登録湿地の境界内に入っています。それにより、自然公園法の適用となり、風光明媚な環境と引き換えに、建ぺい率 20%以下の制限、高さ制限は 13m 以下、本自然公園に関わる 5 つの自然保護団体への説明会開催、農業委員会への説明会出席等の必要がありました。頭に描いた広々とした更衣室や職員食堂、会議室の計画や、屋上に展望浴場の設置等は制約上断念せざるを得ず、建築工事中も白鳥等野鳥への徹底した配慮の要求など、気力の失せる問題と制約だらけの改築工事となりました。

しかし、2004 年 9 月、多くの職員、特に中野事務長や斎藤前看護部長の献身的努力と協力を得、無事に竣工し、引っ越しを終えたときの安堵感や、顧問税理士と共に福祉医療機構へ建築費の相談へ数回上京したことも懐かしい思い出です。

竣工後、近隣の農家の方に、「畑の土留めをモグラに荒らされたのを整備しただけで自然保護の関係で様々云われる土地に、あんた良く病院建てたね」と言われた言葉は忘れられません。

その後、遅れていた福祉関係の整備にかかり、グループホーム「ハウスステップ」と「ハウス佐潟」、就労継続支援 B 型「ラグーン」を開設し、リハビリ棟の完成、アウトリーチへのシフトを見据え訪問看護ステーション「つばさ」の開設と施設の充実を図ってきました。これらも皆が希望と情熱をもってアイデアを出し合い、一致団結したからこそ成し遂げ



ることが出来たと信じています。

そしてご高齢となられ、退任を申し出ておられた栃倉博前院長の後任探しは、病院の将来を左右する最重要なタスクでありました。

初代上村忠雄院長は、新潟大学医学部精神医学教室の第 2 代教授を務められた先生でありますし、ぜひ次の院長は新潟大学の精神医学教室から招きたいという頭がありました。幸いにも、医局員時代に当院へ診療のお手伝いにおいでいただいたこともあり、当時精神医学教室准教授の職にあられた北村秀明先生に懇願したところ、内諾を頂きました。栃倉前院長、中野事務長と共に教授室に染矢俊幸先生を訪ね院長として就任頂くことの許可を頂いた時は本当に安堵したものでした。北村院長の管理者としての手腕により、現在の佐潟公園病院は新たな病院名もすっかり定着し、まさに成熟期にあるのだと思います。

最後になりましたが、私が理事長として心掛けてきたことは「病院の存在価値は地域の方々からの信頼」と「職員と家族の生活が成り立つこと」です。この二つこそが病院の存在価値であり、私の務めと考えてきました。

先の見通しにくい社会情勢や医療情勢の中で、新理事長には今まで以上に難しい判断とかじ取りが必要な時代であると思われま。不易流行という言葉があります。医療法人が存続していくためには、常に時代にあった変化が必要となりますが、一日も早く、新理事長が職員や地域の人たちの中に根を張った新体制ができるよう、しばらく見守ってほしいと思っています。

そして私自身は「周囲の人の迷惑にならないように生きる」をモットーに残りの人生を過ごせたらと思っています。

終わりに、お世話になった多くの方々から感謝申し上げます。

「ありがとうございました。」

副院長就任のご挨拶

佐潟公園病院 精神科 横山 裕一

この度、令和 7 年 4 月 1 日付で副院長を拝命いたしました。外来・入院診療は変わらず続けていきますが、4 月から初診枠が午後になり、その分午前の再診枠が増えることとなります。当院に着任してから早いものでもう 4 年目となりますが、この間に新型コロナウイルスが 2 類から 5 類感染症に変更され、パンデミック以前の日常生活が取り戻されつつあります。当院では入院中の面会や外出外泊の制限が緩和されました。一方で、国内外では凄惨な事件や戦争・紛争のニュースが続き、能登半島地震では私の地元である新潟市西区も大きな被害を受けました。今まで予想もできなかった悲しい出来事が突如として起こり、マスクを外して暮らしていても、どこか息苦しさを感じてしまいます。

そのような中で、精神医学分野に関連する認知症領域において明るい話題がありました。令和 5 年 9 月と 6 年 9 月にアルツハイマー病の新薬 2 剤が本邦で承認されたのです。アルツハイマー病は、脳内にアミロイドβとタウという物質が蓄積することがわかっており、これらを標的とした創薬が長年続けられてきました。今回承認された 2 剤はいずれも脳内のアミロイドβに作用し、アルツハイマー病による軽度認知障害または軽度認知症の時期に使用することで、認知機能障害の進行を遅らせる効果が期待されています。飲み薬ではなく注射剤のため定期的な点滴投与が必要となります。初回導入施設と薬剤投与対象者の選定には厳格な要件があり、当院でこの治療を開始することはできないのですが、当院は治療開始半年以降のフォローアップ施設としての認定を受けました。今年度から、信楽園病院やみどり病院などの初回投与施設と連携し、地域の皆様のお役に立てるよう努めて参ります。

さて、本稿作成にあたり、絵の上手な通院患者さんに無理なお願いをして、私の似顔絵を描いていただきました。時間のなかで大変丁寧に、繊細なタッチとカラーで実物よりも若々しくシャープに仕上げてくださいました。この場を借りてお礼申し上げます。今後、アートやデザインに携わる患者さんの作品や仕事を紹介する機会を増やし、ほっと息をつけるような、明るい話題を提供していけるようにと願っております。これからもどうぞよろしく願いいたします。

